

製品安全データシート (MSDS)

発行 2011 年 10 月 26 日



会社情報	会社名	秋山精鋼株式会社
	住所	東京都足立区神明2-6-23
	担当部門	生産部技術開発室
	電話番号	03-3605-2134 FAX 番号 03-3628-9212
	緊急連絡先及び電話番号	同上
	作成・改訂	1999年2月作成 2008年4月改訂 (2011年10月見直し)

1. 製品名 オーステナイト系快削ステンレス鋼 SUS303

2. 製品の組成 単体/混合物の区分: 混合物 (合金)

主な成分 (トリベ分析値にて管理)

成分	含有量 (wt%)	CAS番号	区分
炭素 (C)	≤0.15	7440-44-0	—
ケイ素 (Si)	≤1.00	7440-21-3	—
マンガン (Mn)	≤2.00	7439-96-5	③
リン (P)	≤0.20	7723-14-0	—
硫黄 (S)	≥0.15	7704-34-9	—
ニッケル (Ni)	8.00~10.00	7440-02-0	③
クロム (Cr)	17.00~19.00	7440-47-3	③
モリブデン (Mo)	≤0.60	7439-98-7	②
鉄 (Fe)	残部	7439-89-6	—

区分 一: 対象外 ①: 労安法対象物質 ②: PRTR 法対象物質
③: 労安法及び PRTR 法対象物質

3. 危険有害性

一般的な環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報はないが製品の取扱い、加工に際し下記項に留意する。

- 1) 重量物のため、転倒、転がり、荷崩れ等に十分な注意を要する。BAR 状態の製品は包装テープや結束ロープの切断等により開包する際に材料が転がる恐れがあり、コイル状態の製品の結束フープを切断するときはフープ及び材料端部が跳ね上がる可能性があるため、安全に留意を要する。
- 2) 鋼材の切断端面及び切削屑等は皮膚を傷つける場合がある。
- 3) 加熱、溶融、切削、研削等の加工等に伴うヒュームや微粉は呼吸器、目他の粘膜を刺激する場合があります、アークは火傷を起す可能性がある。

4. 応急処置

必要な応急措置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。下記は応急措置の例である。

- *ヒューム等により呼吸困難を起した場合は、呼吸補助をし、速やかに医師の診断を受ける。
- *アーク等により火傷した場合は、患部を冷やし、必要に応じて医師の手当てを受ける。
- *ヒューム・微粉等が目他の粘膜を刺激する場合は、水で洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。
- *鋼材切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、切傷の清潔を保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。

5. 火災時の処置 : 不燃性の状態にあり、火災は生じない。

6. 漏洩時の処置 : 一般的な環境では、形状のある固体であるため漏出ししない。

